

高校国語現代文 小説問題を解く前に 結局何を問われているのか

評論系の文章はだいたい論理的に書かれているので、しっかり勉強すると読み解く側にも理解しやすいのに対し、小説は文章がいまいちな部分も含まれているので、わかりにくいと感じる方も多いようです。逆に読みやすい小説でラッキー！なんて思ったのに、いざ問題を解く段階になるとどうやって選択肢を絞っているかわからない・・・

そんな方のために、小説問題を解く前に知っておきたい知識や選択肢の絞り方を学んでいきましょう。

小説問題の設問では、結局何を問われているのか

小説問題の本文の読み方の前に、設問の問題文そのものについて考えてみましょう。
まずは次の例題をやってみます。

例題 A

本文を読んで、後の問に答えなさい。

そう思ったら、もうコンビニに向かって走っていた。自宅からはかなり遠いが、十九時過ぎくらいだとすればまだ間に合うはず。息を切らしてついた時には十九時を五分ほど過ぎていたが、カミオらしき人物は店内にはいない。

そうはうまくいかないか・・・そう思った時、自動ドアが開いてカミオが入ってきた。

「あれっ、ギスケじゃん。どうして・・・」

「あ、いやコンビニでアイスでもと思って・・・」

「でもおまえんちから近いのって、ドーソンじゃ」

「あ、いや、ウィット限定のがあって・・・」

ギスケはそこまで言っただけでさすがにわざとらしいかと思ったが、一瞬の沈黙のあとだった。

「このあいだは俺も悪かった。気を使わせてしまったな」

「いや、こっちこそ・・・アイス、おまえのも買うよ」

「おう、ありがと。ちようど食べたいと思ってたんだ」

(編井 一樹「ねむとクロの森」より)

問 どのようにカミオが言ったのはなぜですか。最も適当な選択肢を選びなさい。

- 1 ただでアイスを買ってもらえてラッキーだと思ったから。
- 2 ギスケにアイスをおごらせようと思ったから。
- 3 今ちようどアイスを食べたいと思っていたから。
- 4 ギスケと仲直りしたいと思ったから。

どうでしょうか。選ぶことができたか。

いや、選ぶ以前に、この設問ってなぜですか とあるけど・・・なぜ？ 理由？

カミオがこのセリフを言った理由は、直後に書いてあるように思うけど・・・それとも他の箇所にあるのか・・・

そんなことを考えた方！ あなたは間違っているわけではないのですが、ちょっと待ってください。では、次のページで解説してみしましょう。

前のページの設問の答えがわかりましたか？

なぜですか と書かれているので、理由を聞かれていると思ってがんばって本文から理由になりそうな箇所を探したり、理由を考えたりする方もいると思いますが、実はそうではないのです。問題文が次のようになっていたら、おそらく勘違いはしないでしょう。

問 どのようにカミオが言った時の心情を最もよく表している選択肢を選びなさい。

- 1 ただてアイスを買ってもらえてラッキーだと思ったから。
- 2 ギスケにアイスをおごらせようと思ったから。
- 3 今ちょうどアイスを食べたいと思っていたから。
- 4 ギスケと仲直りしたいと思ったから。

これならどうでしょうか。選択肢は全く同じですが、問題文が少し違います。

前のは なぜですか でしたが、今回は **心情を** になっています。

じゃあ違う問題なのかというと、実は同じ問題です。

共通テストでも各大学の二次試験でも なぜですか や ということか などの聞き方をしてくる問題文がありますが、

小説問題では基本的には全部 **心情問題**なのです。

これを知らないと、全然違う選択肢を選んでしまうことがありますので要注意です。

ポイント

小説問題では、設問の聞き方が多少異なっても、基本的には**心情問題**である。

心情が問われていることがわかったところで、どうでしょうか。カミオの心情はどれなのでしょう。

本文からは、さすが2 は無さそうです。次は、1 も無いでしょう。この二つの選択肢は本文には根拠が書いていないですし、ちょっと深読みしてもわからないはず。

あとは、3 か 4 ということになりましたが・・・

4 は直接は書いてありませんが、「俺も悪かった」「こっちこそ」というセリフから、仲直りしたいことはわかります。

3 はどうでしょうか。カミオは「ちょうど食べたいと思っていた」と言っていますが・・・

心情ってどんなもの？

カミオがアイスを食べたいと思っている可能性はゼロではない、いやむしろ高いと思います。

でも待ってください。これは小説を使った問題なんです。そして問題の設問で聞かれていることは、お腹がすいたから食べたい といったことではなく、登場人物の心情なのです。つまり、

- ・ お腹すいたから ご飯を食べた。
- ・ 喉が渴いたから お茶を飲んだ。
- ・ 転んだから 痛くて涙が出た。

などのように、あまりに単純過ぎることは心情とは言えません。

心情とは、それほど直接的に書かれていることではなく、登場人物の動作やセリフなど、書かれていることからある程度は把握できる登場人物たちの心の動きのことです。

(次のページで心情のまとめ)

ポイント

あまりに単純すぎることは、心情とは言えない。

そもそも小説というのは、全てを説明するように書き過ぎることはあまり良くないとされているので、たとえばさきほどのシーンの終わりに、

カミオは、ギスケにも謝罪したい気持ちがあったことがわかり、しかもアイスを買ってくれるという気遣いもうれしく、一緒にアイスを食べることによって仲直りすることができそうで、とてもうれしかった。などど書かれていたら随分と説明が多い小説で、雰囲気などが無くなってしまいそうですよね。ですから、小説は説明し過ぎないものだと思ってください。

ポイント

小説ではあまりに説明的に全てが書かれているわけではない。

心情はどこで判断するのか

ここまでわかったところで、1ページ目の例題がわかってきましたね。あとは心情をつかむ方法がわかれば、問題を解くことができます。

そこで心情を把握する時の判断材料が、登場人物の動作やセリフということになります。

ポイント

心情の把握には、特に登場人物たちの動作・セリフに注目する。

たとえば文章の中の動作

・ そう思ったら、もうコンビ二に向かって走っていた。 という動作は、

←

早くカミオに謝罪したいというはやる気持ち です。

・ 一瞬の沈黙の は、二人とも動きもセリフも無い状態ではありますが

←

二人のぎこちなさが表れています。

これが登場人物の動作からある程度は判断できることです。

セリフは一番の判断材料と言えます。この小説でもお互いの謝罪したい気持ちがちゃんとセリフからわかりますよね。

よって例題の答えは 4 ギスケと仲直りしたいと思ったから。 だとわかります。ではこれまでのポイントをまとめてみましょう。

まとめ1 小説の設問に答える時に大事なこと

- ・ 小説問題では、設問の聞き方が多少異なっても、基本的には心情問題である。
- ・ あまりに単純すぎることは、心情とは言えない。
- ・ 小説ではあまりに説明的に全てが書かれているわけではない。
- ・ 心情把握には、特に登場人物たちの動作・セリフに注目する。

では、次のページで例題Bをやってみましょう。

例題B 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

「誰がやったのか、何か気がついた人はいですか」

ああ、またこの学級会の流れかあ・・・

うちのクラスは、何か問題ごとがあるとすぐにこういった裁判みたいな流れになる。

問題を起こした人を悪いと決めつけて、さらに必要以上に悪いと糾弾するような展開になっていくの、いつものパターン。

私はこれが苦手だ。学級会の時間全部を使ってしまっし、すごく長く感じられて空気も重い。

担任のイスア先生はいつものこの流れをただ眺めているだけのように見える。そこには、大人が介入することなくクラスのみんなが解決できるようになって欲しいというような、教育的な考えがあるのか無いか・・・。

しかも今回は困ったことに、その犯人が誰なのかがわからない。だから裁判というよりもまずは犯人探しということになっており、雰囲気は一層暗い。

たしかに黒板に人の悪口を大きく書いておいたことは問題だとは思う。でも、こんな形ですつと学級会をしていても、犯人は名乗りでないだろうし解決にはならないような気がする。

いや、あえて犯人探しをしなくてもいいんじゃないか・・・

そうは思うけど、私は手を挙げて発言するようなタイプじゃない。なのでいつも黙ってままだ。クラスの大半の人もそうだろう。でも誰かが何か言わないと進まない。

そんなことを考えていると、ザクミが手を挙げた。

「あのう・・・このことは問題だとは思うんだけど、犯人探しを絶対にしないとダメなの？」

この発言に、私は少しドキッとした。

(稿井 一樹「ねむとクロの森」より)

問 傍線部のようになっていますがなぜですか。次の選択肢から最も適当なものを選びなさい。

- 1 ザクミの発言で、同じ議題で長く続く学級会が早く終わりそうて嬉しく思ったから。
- 2 ザクミの発言を聞いて、もしかしたらザクミこそが犯人なのではないかと思ったから。
- 3 ザクミの発言を聞いて、まるで今の私の心の中を言い当てられたような気がしたから。
- 4 ザクミの発言で、クラスメイトが次々に発言をして学級会が紛糾しそうな予感がしたから。
- 5 ザクミの発言によって、犯人は心の中でホッとしているに違いないと思ったから。

解答へのステップ

なぜですか と問われてはいますが、設問は登場人物「私」が、ドキッとした時の心情を聞いているので、それに合っている選択肢を選ぶでしたね。

でも、先ほどの例題Aとは違って、全く心情とは言えなかったり心の動きが単純過ぎる内容も無く、5個の選択肢全てが「私」の心情のようにも思います。

この場合、うまく選択肢を絞っていくのはどのようにすれば良いのでしょうか。

次のページで解説です。

解答と解説

選択肢をひとつずつ検討していきましょう。

1 は本文の前半に 長く感じられて とあるので、ザクミの挙手の発言によって 早く終わりそうにはつながらるかもしれませんが、嬉しくおもった はどうでしょうか。ドキッとした とつながりが無いように思います。

2 は本文のこの場面のみからはわからないことだと思います。本文では「私」は 犯人探しをしなくてもいい と思っているので、この選択肢を選んだ人は「私」の心を深読みし過ぎです。

3 は直接本文に書かれている箇所が見当たりませんが、「私」が そんなことを考えて いるところにザクミの発言というタイミングなので、ドキッと につながりそうな気がします。

4 は本文の後半に 黙ったまま。クラスの大半の人もそうだろう と あるように誰かの発言をきっかけに急に議論が活発になるとは思えません。また、ドキッとした ともつながらない感じがします。

5 も本文のこの場面からはわからないので深読みし過ぎな内容ですし、ドキッとした と関連しないでしょう。

ということで、正解は 3 です。本文の「私」の心の動きを見てみましょう。

心情の流れを見る

あえて犯人探しをしなくてもいいんじゃないか・・・ と「私」は心の中で思っている。

← そんなことを考えていると、ザクミが手を挙げた。

「私」が考えているタイミングで

← 「あのう・・・このことは問題だとは思うんだけど、犯人探しを絶対にしないとダメなの？」
この発言に、私は少しドキッとした。

この流れからすると「私」が考えていたことと同じようなことを、ちやうどのタイミングでザクミが発言したので、ドキッとした は驚きにも似たような心情だということがわかります。

それに言及している選択肢は 3 です。

他の選択肢は ドキッとした につながりません。

特に2 や 5 のような選択肢は「私」の心情を深読みし過ぎです。この小説には前の部分があり、もしかしらそこにはそうしたことが書かれている可能性はありますが、小説問題を解く場合には、あくまで本文の場面からだけで判断をします。

では例題Bでやったことをまとめてみましょう。

まとめ2 小説問題を解く時に押さえておきたいポイント

- ・ 本文の前後などを類推して判断しない。
- ・ 登場人物の心情を深読みし過ぎないように注意する。

特に小説をこれまで読んできた方は気をつけるように心がけてください。無意識のうちのこれまで読んだ似たような小説の場面が思い浮かんで、つい深読みし過ぎることがあります。